

敬語とは：聞き手や、会話の中に出てくる人などに対して敬意を表すための、ていねいな言葉づかい。

一・考えよう

「ていねい語」：話している相手に敬意を表す。

「尊敬語」：相手や話題になっている人物を敬う気持ちを表す。

「けんじょう語」：自分の動作をけんそんしていうことで、動作を受ける人への敬意を表す。

- ・郵便物を、机の上に置いておきます。()
- ・校長先生が、そうおっしゃった。()
- ・何時ごろいらっしゃいますか。()
- ・展覧会には、もう行かれましたか。()
- ・明後日、ご自宅にうかがいます。()
- ・機械の操作方法は、私がお説明します。()
- ・紅茶に砂糖をお入れになりますか。()

二・適切な表現になおしましょう。

【家に来客のあったとき】

「いらっしゃい。今、お母さん呼んでくる。ちょっと待っててください。」

「

【電話を受けたとき】

「もしもし。同じクラスの中山だけど、しゅうた君は。」

「

【電話をかけたとき】

「はい中山です。だれですか。お父さんは、今、いません。帰ってきたら、電話するように言います。」

「

【店で店員さんと話すとき】

「カーネーション、三本ください。おばあちゃんにあげるから、リボンをつけてほしいんだけど。」

「

【食べ物や飲み物をすすめるとき】

「どうぞ食べて（飲んで）ください。」

「

「クッキーを、もう少しどうですか。」

「

【もらった物のお礼を言うとき】

「この間は、りんごをくれて、ありがとうございました。おいしく食べました。」

「

【職員室で話すとき】

「失礼します。六年い組の田中です。三浦先生いる。一時間目の体育は何するの？」

「